

# 埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成27年度 埼玉県医師会精度管理試料梱包・ 発送作業に参加して

平成27年9月5日、精度管理試料梱包・発送作業が行われました。かなり早く着いたはずなのですが、すでに山口委員長の姿が。流石です。

外箱と試料の仕切りをセットしておき、各研究班は試料の確認をしつつ、詰める準備を整えます。臨床化学は、凍結サンプルのバイアルにラベルを貼る作業があり、他の部署の方にもお手伝いいただきました。意外と苦労する作業です。

午前9時、神山副会長のご挨拶の後、本格的に作業が開始されました。箱の内容表記に合わせて試料を入れるのですが、施設毎に測定項目が異なるため途中何か所かでチェックを行います。ほとんどの方は慣れているので作業は非常にスムーズに進みました。

実試料の次にフォトサーベイ用CD、アンケート等を揃えて配送料用袋に詰めていきます。当然、宛先もチェックです。こうしてできあがった試料は、床いっぱいに広がり、なんとも壯觀な光景でした。手分けして封をし、配達を待つのみ。



完璧に終了のはずでしたが、やはり何かしら落とし穴があるので返信用封筒の入れ忘れが発覚し、開封して入れなおしというおまけがついてしまいました。何事も確認が大切という最も初步的な教訓を、身をもって知ることとなりました。

今回事業に参加して、試料の発送だけでもかなりの作業であることがわかりました。問題の作成や試料の準備等に携わった方々には相当の業務であったと拝察しますし、この後の集計と解析も同様でしょう。今回、事業の



利益相反の有無：有

※この演題の発表に関連し開示すべきCOI関係にある企業名：

○○株式会社、△△製薬株式会社

## II. 記録媒体

- 1) 原則はCD-R (CD-RWは不可) を使用する。  
(CD-Rが使用できない場合は、U S Bメモリーでも良い)。  
CD-Rは返却いたしません。実行委員会にて責任を持って処分いたします。U S Bメモリーでの送付は発表終了後、総合受付にて返却いたしますが、できる限りCD-Rのご送付をお願い申し上げます)
- 2) 1演題につき1枚のCD-Rでご送付ください。
- 3) CD-Rは表面に「分類-演題番号・演題名・ご氏名」をご記入ください。
- 4) U S Bメモリーは「分類-演題番号・演題名・ご氏名」を記載したメモまたは用紙を同封してください。(ファイル名は【分類-演題番号・ご氏名】です)。  
(記入例) 微-1 当センターにおける血液培養の陽性率・埼玉太郎
- 5) バックアップとして予備データを必ず用意し、発表当日持参して下さい。

## III. 送付方法

発表ファイルのみ保存したものを「11月13日」まで下記宛にご送付ください。

### <送付先>

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室780  
埼玉県立がんセンター 検査技術部  
第44回埼玉県医学検査学会  
副実行委員長(兼)学術部長  
伊丹 直人 宛  
TEL : 048-722-1111(内線4140)  
E-mail : itami-naohito@cancer-c.pref.saitama.jp

# 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」 開催のお知らせ

平成27年度研修会の開催日程のご案内をいたします。

日 時：平成28年1月30日(土)～31(日)

場 所：大宮ソニックシティ 904会議室

参 加 費：10,000円

申し込み：メールで所属と氏名をご登録下さい。

メールアドレス : kensasetumei\_mousikomi2015@yahoo.co.jp

申し込み締め切り：12月15日(火)まで

問い合わせ：岡田茂治 埼玉県立がんセンター 検査技術部  
048-722-1111 内線4180

カリキュラム案内は後日HP等でご案内いたします。

ぜひ多くの会員にご参加いただけますようお願いいたします。

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ 心臓、頸動脈超音波実技講習会 1・2

主催 生理検査研究班

実施日時：平成27年9月5日 10時00分～16時30分

会 場：済生会栗橋病院 講義室 点数：専門教科－20点

講 義 1：頸動脈エコーの基本的な描出法と評価法

講 師：中野 英貴（小張総合病院）

講 義 2：心エコーの基本的な描出法と評価法

講 師：近藤 昌知（府中恵仁会病院）

実技講師：近藤 昌知（府中恵仁会病院）

中野 英貴（小張総合病院）

阿部美智子（深谷赤十字病院）

早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）

司 会：丸山 陽介（国立病院機構 西埼玉中央病院）

参加人数：会員38名 非会員1名（学生）

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 灑澤義教 家城正和 早川勇樹 関口知詠子  
丸山陽介

#### 研修内容・感想など

今回も去年と同様に実技講習を2日間に亘って、済生会栗橋病院にて超音波実技講習会を行った。前回は腹部のみの講習であったが、今回は心臓、頸動脈を2班ずつに分け、2日間で午前午後の4部制にし、講義を昼に行う形で自分の勉強したい領域を選択できる方式をとった。

心臓領域の実技講習ではルーチンで基本となる傍胸骨長軸像から、心尖部三腔、四腔像までの断層像の出し方、EF、E/A圧較差の測定方法について指導していただいた。被験者の心臓の場所をイメージさせつつ、プローブの位置や固定方法、角度の付け方など、どのように動かせば正しい画像を描出できるか、講師の先生方の的確なアドバイスによってほとんどの受講者が自分自身で描出できるようになっていた。

頸動脈領域の実技講習では総頸動脈、内頸動脈、椎骨動脈の出し方から、IMTの計測、血流速度の計測まで、ルーチンで必須となる内容を一通り指導していただいた。特に難しいとされる血流速度の計測では、ドプラ入射角度をなるべく小さくするためのコツを実際に体験しながら学ぶことができたのは有意義だったと思う。

心臓、頸動脈それぞれ、基本的な描出法と評価法についての講義では、まずは計測のために正しい画像を出すことが重要であるということが示された。さらにルーチンで必ず測定する項目の測り方と注意点、計測ではleading edgeの判別や、ドプラの特性等、超音波検査の勉強を始める第一歩として必ず知っておくべきことを初心者に理解しやすい内容で解説していただいた。また、ある程度、操作できるようになった中堅技師にとっても、今後自施設で超音波検査初心者に対してどのように指導していくべきなのか、教え方についても非常に参考になる研修会であった。

（文責：丸山陽介）

### テーマ 心臓、頸動脈超音波実技講習会 3・4

主催 生理検査研究班

実施日時：平成27年9月6日 10時00分～16時30分

会 場：済生会栗橋病院 講義室 点数：専門教科－20点

講 義 3：頸動脈エコーの症例とその評価法

講 師：中野 英貴（小張総合病院）

講 義 4：心エコーの症例とその評価法

講 師：早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）

実技講師：近藤 昌知（府中恵仁会病院）

中野 英貴（小張総合病院）

阿部美智子（深谷赤十字病院）

早川 勇樹（自治医科大学附属さいたま医療センター）

司 会：丸山 陽介（国立病院機構 西埼玉中央病院）

参加人数：会員37名 非会員1名（学生）

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 家城正和 早川勇樹 関口知詠子 丸山陽介 横尾愛  
研修内容・感想など

実技研修では今回は参加人数が前日と比較して若干少なかったが、1班あたりの人数が少な  
くなった半面、1人当たりのプローブを握っての講習時間が長くとることができた。さらに時  
間に余裕ができたおかげで、研修者が日常での超音波検査に対する疑問や不安に感じているこ  
とを講師の先生方と近い距離で直接質問することができていた。

講義では心臓、頸動脈超音波それぞれ症例と評価法についての講義があった。心臓では壁運動異常の評価方法において、紛らわしいCLBBBや奇異性運動との鑑別方法を実際に壁厚の変化の違いを動画で示していただいた。シャント血流の評価では、カラードプラやBモードで欠損口の部位を判別するのに難しい症例においては、圧較差の生じ方を見ることで判断できるとい  
うことを心内圧曲線を用いて丁寧に解説していただいたため非常に分かり易かった。

頸動脈では主に狭窄、閉塞症例の評価方法について講義があった。ブラークにより正確な狭  
窄率が計測できない場合では流速によりおおよその狭窄率を推定できること、描出範囲外に狭  
窄がある場合では、中枢側か末梢側、どちら側が狭窄しているか波形パターンから推測する方  
法について解説があった。また、初めに描出した総頸動脈が閉塞してしまっている場合でも、  
盗血現象や側副血行路によって末梢側に血流が存在する場合があるため、遠位側までしっかりと  
血管を追うことの重要性が示された。実際の症例を基にMRI等の他のモダリティーとエコー  
比較して提示していただいたため、脳への血行動態についても理解を深めることができた。

参加者の中には実技と講義を2領域選択し、丸一日二日間に亘って受講していただいた方も  
多かった。このような研修会は他の学会でもあまり行われておらず、他の施設の技師と技術と  
知識を共有できる機会というものは少ない。このことから、今回の研修は非常に有意義なもので  
あったと思われるため、改善点を整理し来年度へと繋げていきたい。

（文責：丸山陽介）

## テーマ 初心者・初級者血液形態セミナー・難しいから面白いに！ 血液検査定番の鏡検研修会

主催 血液検査研究班

実施日時：平成27年9月6日 9時00分～16時00分

会 場：埼玉医科大学保健医療学部日高キャンパス

点数：専門教科－20点

講 師：血液研究班員、非常勤講師

参加人数：会員49名 非会員2名 学生2名

出席した研究班班員（＊非常勤講師）：星孝夫 田中正 網野育雄 圓田和人 原誠則

橋口恵子 ＊大野みどり ＊波多野佳彦

研修内容・感想など

今年も昨年同様レベルごとに班分けを行うための簡易テストから始まった。顆粒球系・リン  
パ球系や、赤芽球、異型リンパ球等、典型的な細胞が出題され、受講者の現時点での細胞形態  
の理解度の把握がなされた。その後は圓田氏（戸田中央臨床検査研究所）より末梢血の血液細  
胞の基本的な見方についての講義があり、初心者には細胞の見方の初步を、初級者には細胞の  
再確認になったことと思う。

午後は、テストにより振り分けされた初心者・初級者に分かれて鏡検した。健常者の標本を  
用いて基本的な細胞形態の見方を学ぶ初心者コースでは、細胞ごとにスケッチをして細胞の大

きさ、核網や細胞質の状態、リンパ球・単球の鑑別等、解説を交えながら進めていき最後にはスライドに映した細胞について100カウントしてもらった。初級者コースは、CMLやM3、CLL等の白血病の症例から、MDSや鉄欠乏・溶血性等各種の貧血、反応性異型リンパ球の出現する伝染性单核球症の症例まで、個々の細胞形態や標本全体からどういう疾患に結び付いていくかのプロセスを学んでもらった。

下記に、毎年恒例となっているじゃんけん大会で決まった方に実習の感想を書いていただきたいもの紹介する。

(文責：橋口恵子)

### \*血液形態セミナーに参加して\*

今回、血液形態セミナーで講義と実習にて多くのことを学ばせていただきました。

講義では各血球の特徴や鑑別ポイントを分かりやすい例えや写真を用いて説明してもらいました。実習では実際に顕微鏡を用いて、ひとつひとつ丁寧に血球や疾患の特徴を教えてもらうだけでなく、血液像を見る上で大事な点など多くのことを学べました。

今回教えていただいたことを日々の仕事に生かして頑張りたいと思います。

白岡中央総合病院 検査科 永山絵理

血球鑑別の重要なポイントとなるのが核の構造です。しかし一般的な教科書や参考書にみられる「繊細」「粗大」といった解説は初心者の私では瞬時にイメージすることが難しく困窮しておりました。その様な心境の中、今回のセミナーで各血球の特徴を身近な食べ物で比喩していただいたことが非常に印象に残り、午後のスケッチとカウントに活用することができました。また、何枚もの正常なスライドを見続けることが上達において大切だというお話を伺うことができましたので、今後に向けて日々鍛錬していきたい所存であります。今後も血液の研修には積極的に参加し、より知識を深めていきたいと考えております。

(株)保健科学東日本 総合検査科血液一般検査グループ 鈴木穂高



### テーマ 口腔ケアで健康増進！～意外と知らない口腔ケアの重要性～

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成27年9月11日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 901号室 点数：基礎教科－20点

講師：前田 千尋（上尾中央総合病院）

参加人数：会員30名

出席した研究班班員：菊地孝司 長崎広美 立塚梓 穴原賢治

研修内容・感想など

今回の研修会は、口腔ケアをテーマに歯科衛生士の前田氏に講演していただいた。前田氏は普段、口腔外科に勤務されており、そこでの体験や口腔ケアの重要性を教えていただき、幅広

い視点からの解説でとても解りやすい内容だった。

まず、日本の死因別の統計データやその項目の説明から始まり、口腔領域では原因となるものについて更なる解説をされた。5大死因の一つである肺炎については、口腔ケアによって死亡率を抑えられる事を知り、大きな衝撃を感じた。肺炎は口腔細菌による原因が分かっており、細菌を減らすための歯磨きについても細かく教えていただいた。自分たちの今までの歯磨き方法との比較ができ、改めて歯磨きの重要性や大切さを感じた。さらに、歯周病は日本人の成人で約80%が罹患していると考えられ、歯周病が糖尿病・動脈硬化・心臓病に関係している話題は大変興味深かった。また、妊産婦の歯周病は、早産や低体重出生児出産のリスクを高める話は知っておくべき内容だった。高齢者によく使われる義歯については、普段の手入れ方法と使用する市販の薬剤の選択・目的を説明され、理解が深まった。日常生活における口腔ケアの注意点としては、乾燥が大敵であることの意味とその対策について説明していただいた。

最後に、最近の話題として、骨粗鬆症治療における副作用が口腔に影響する話や病院勤務で経験した患者さんの疾患別症例写真を見せていただき、疾患の早期発見や早期治療の大切さを感じた。

(文責：穴原賢治)

## 埼臨技ひろば

### 第3回 釣り大会のご案内

埼臨技有志釣りクラブの第3回釣り大会を開催いたします。

審査ルールは毎回参加者で相談し決定している、和気あいあいの釣り大会です。初心者・家族連れも大歓迎です。優勝トロフィー（持ち回り）と優勝、準優勝、3位、特別賞の盾を用意しご参加をお待ちしています。多くの会員の方のご参加をお待ちしています。

開催日：平成27年12月13日（日）

場所と時間は未定：東京湾近郊で出船を予定しています。

みんなが楽しく釣れるよう、釣果状況を見て場所は決定します。

大会参加費1,000円、船代は前回9,000円でした。

申し込み先：sairingi\_fishing\_club@yahoo.co.jpまで

問い合わせ：岡田茂治 埼玉県立がんセンター 検査技術部

048-722-1111 内線4180



※埼臨技有志釣りクラブは共通の趣味を通じた、ゆる~い友達作りの会です。参加に必要なのは釣った魚を持って帰るクーラーボックスだけ。船頭さんが竿も仕掛けもエサも氷も準備してくれるし、釣り方も教えてくれます。また仕立て船（貸切）で開催しますので仲間だけでの釣りですから、迷惑をかけそうだなどと心配しがちな初心者でも安心です。こんなクラブなので経験のある方でいい船宿があれば教えてください。

世話役 岡田（埼玉県立がんセンター）

**平成27年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第6回 理事会議事録**

**日 時：**平成27年9月10日（金）19時00分より  
**場 所：**埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

**議 題：**I. 行動報告      II. 報告事項  
III. 承認事項      IV. 議題

**出 席：**(理事)津田 神山 島村 岡田 矢作  
奈良 猪浦 長岡 伊藤 松岡  
濱本 藤井 長澤 神嶋 山口  
野瀬

(監事)遠藤 細谷

本日の理事会の出席者は18名であった。理事の出席者は16名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聰一郎会長が務めることとなった。

**I. 行動報告(平成27年8月7日～平成27年9月9日)**

8月7日(金)第5回理事会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、  
小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、  
松岡、小島、濱本、藤井、長澤、  
神嶋、山口、武関、野瀬、遠藤

8月11日(火)第2回わらび健康まつり実行委員会：濱本

8月20日(木)事業部会：

津田、島村、濱本、藤井、長澤、  
神嶋

8月21日(金)第44回埼玉県医学検査学会第10回  
実行委員会：岡田、長岡

8月29日(土)第26回首都圏支部・関甲信支部合  
同一般検査研修会：岡田

9月3日(木)熊谷保健所診療所申請：

濱本、神嶋

9月5日(土)埼玉県医師会精度管理調査試料箱

詰め作業：

神山、島村、奈良、猪浦、松岡、

小島、長澤、山口、鳥山、武関、  
遠藤

**II. 報告事項**

**1 事務局**

- 1) 8月12日、当会名誉会員須永隆雄氏が逝去され香典と生花を供した。
- 2) 平成27年度埼玉県公衆衛生事業功労者に対する知事表彰へ推薦した6名の受賞決定の通知が県よりあった。

佐藤 一穂 氏(さいたま市民医療センター)

白石 一也 氏(川口工業総合病院)

長谷川 隆 氏(浦和医師会メディカルセンター)

藤井 豊善 氏(蕨市立病院)

長岡 勇吾 氏(さいたま赤十字病院)

小山 博史 氏(JCHO埼玉メディカルセンター)

**表彰式：**

日時 平成27年10月23日(金)

15時15分～

会場 さいたま共済会館 6階ホール

- 3) 平成27年度全国「検査と健康展」での厚生労働省後援名義使用許可のお知らせが日臨技よりあった。

- 4) 8月29日、第26回首都圏支部・関甲信支部合同一般検査研修会において開催県を代表し岡田副会長が挨拶を行った。

- 5) 第17回埼玉県脂質代謝研究会の名義後援の回答を行った。

**2 総務部**

- 1) 「埼臨技だより」第436号、9月15日発行予定

**3 事業部**

- 1) 8月11日、わらび健康まつり第2回実行委員会に出席した。

- 2) 8月17日、埼玉県糖尿病協会へ深谷健康まつりの監督医師の派遣依頼書を送付した。

- 3) 8月20日、事業部会を開催した。

- 4) 8月31日、日臨技へ全国検査と健康展の計画書、予算書を提出した。

- 5) 9月3日、熊谷保健所へ診療所開設申請を行った。

- 6) 9月9日、埼玉県糖尿病協会より監督医師の派遣依頼は困難との回答を受けた。

これを受け深谷健康まつりの監督医師に自治医科大学附属さいたま医療センターの

- 加計正文先生にお願いすることとした。
- 7) 9月17日、わらび健康まつり実行委員会に濱本事業部長出席予定。
- 4 学術部**
- 1) 会員より、研修会の受付についての意見・指摘をいただいた。
- 5 精度保証部**
- 1) 特になし
- 6 会計部**
- 1) 平成27年度正会員費20名分100,000円、入会金20名分20,000円、合計120,000円の入金があった。
- 2) だより第435号印刷代140,238円、会員名簿CD-ROM代87,372円を石井印刷に支払った。
- 3) ノートパソコン3台の購入代165,565円を支払った。
- 7 精度管理委員会**
- 1) 9月5日、平成27年度埼玉県医師会精度管理調査試料箱詰め作業を行った。
- 8 一都八県会長会議**
- 1) 10月17日(土)・18日(日)、第52回日臨技関甲信支部医学検査学会開催予定。
- 2) 11月14日(土)・15日(日)、第4回日臨技首都圏支部医学検査学会開催予定。
- 9 日臨技関甲信支部**
- 1) 10月17日(土)・18日(日)、第52回日臨技関甲信支部医学検査学会開催予定。  
担当: 長野県  
会場: J A長野県ビル
- 10 日臨技**
- 1) 特になし
- 11 第44回埼玉県医学検査学会**
- 1) 8月21日、第10回実行委員会を開催した。

### III. 承認事項

#### 1 事務局

- 1) 会員動向(平成27年度分)  
平成27年9月1日現在  
会員数 2,574名  
(新入会員 202名[平成26年度会員数2,441名])  
賛助会員 67社[平成26年度 79社]
- 2) 日臨技「地域ニューリーダー育成研修会」への推薦者について  
鈴木 朋子 氏(彩の国東大宮メディカ

ルセンター)を推薦した。

- 日時 平成27年10月24日(土)・25日(日)  
会場 晴海グランドホテル
- 3) 平成27年度「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」開催について  
日時 平成28年1月30日(土)・31日(日)  
会場 大宮ソニックシティ904号室

#### 2 総務部

- 1) 第44回埼玉県医学検査学会特集号について  
2) 第45回埼玉県医学検査学会実行委員について

#### 3 事業部

- 1) 特になし

#### 4 学術部

- 1) 第18回秩父臨床化学セミナー研修会について  
2) 生理検査研究班より、第43回埼玉県医学検査学会データの使用願いについて

#### 5 精度保証部

- 1) 特になし

#### 6 会計部

- 1) 特になし

#### 7 精度管理委員会

- 1) 埼玉県医師会精度管理事業におけるメーカー測定依頼の試料郵送代について

### IV. 議題

- 1) 日臨技「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会」への実務派遣について  
標記の件について、津田会長より都臨技千葉会長から当日実務委員派遣の相談依頼について発言があった。現在、首都圏・関甲信支部の講習会を都臨技が請け負っているが、当日実務委員の負担が大きくなってしまおり埼玉県、神奈川県、千葉県の3技師会で交代制で請け負って頂けないかという内容であった。これを受け理事会審議の結果、基本的には協力をしていく方向であるが、実務に関する不明事項を確認した後、正式回答をすることを出席理事全会一致で承認した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

**○医療法人 大宮シティクリニック**

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：048-645-1256 本部長 星野

**○松田母子クリニック**

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：04-2968-6800

事務局・採用担当

**○社会福祉法人恩賜財団母子愛育会****総合母子保健センター 愛育病院**

採用条件：正職員 臨時職員（非常勤）

連絡先：03-6453-7300 管理課 大塚

**○松医療法人道心会 埼玉東武循環器病院**

採用条件：正職員

連絡先：048-960-7100 人事課 田中

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

**あとがき**

私の幼馴染は、子育てと親の介護がひと段落したのを期に、娘時代からの夢であった脚本家としての活動を開始した。

脚本を書くことの魅力について「自分は思ったことを口に出せるタイプではないから、想像したことを文章にするの。要するに、根暗でないと脚本は書けないのよ。」と、彼女は言った。

執筆するのが苦手な私でも、少し無口になつたらうまく書けるのかしら？

脚本家にはなれないが、私も老後にむけて何か趣味を見つけたい。

(伊藤 記)

